幼児だより　８月号

2022.8.1

暑い日が続き、夏の遊びが楽しい季節となりました。子ども達は日々、感触遊びやプールを楽しんでいます。

プール・水遊び

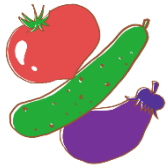
「あと なんかい ねたら プール？」「スイカわりする？」と、プール開きをとても楽しみにしていた子ども達。周りで見ている子は「まっすぐ！」「ちょっとあっち」と棒を持つ子に声援を送り、棒を持つ子は声を頼りにしてスイカを割ろうと頑張っていました。お友達と一緒に外で食べるスイカは格別！スイカの皮が白くなるまで食べる子もいましたよ。

お化け屋敷

毎年くじらさんが中心となって作っていたお化け屋敷。今年はいるかさんも一緒にアイデアを出して作りました。お墓や井戸、山姥の衣装などセットが凝っています。また、去年の事を思い出して「おばけがうごくようにしたい」と工夫していました。

当日はかめさん、ぺんぎんさんも招待して皆にお客さんになってもらいました。お化け役になる人は迫真の演技で「やまんばだぞ～！」。怖くて動けない小さなお友達に「おいで～」と案内する係の人もいましたよ。

野菜が育ちました



園庭に植えた夏野菜に毎日水やりをして観察していた子ども達。大きくなった野菜を見つけると「お野菜できてる～！」と大喜びで教えてくれます。出来たお野菜は皆で分けて食べたり、給食に入れてもらったりして味わいました。

キャンプ(くじら)

キャンプに向けて、キャンプ場でどんなことをして遊ぶか相談し、「あといっかい ねたら キャンプいく？」と毎日聞くほど楽しみにしていました。当日は天候にも恵まれて、川遊び・虫取り・キャンプファイヤーなどのアクティビティを楽しみました。帰ってくると楽しかったことや経験したことを口々に話す子ども達。お家から離れて一泊した子ども達はひと回り大きくなって帰ってきました。

友だちと協力プレー

プール開きの際にスイカ割りがあり
スイカ割りの影響からか目をつぶって遊んだり、歩いたりすることがブームになっていた時のことです、、、
ある朝、Rちゃんが目をつぶってパズルをしている姿をみたAくんは「そっちちゃう！こっち、こっち」とテーブルを叩いてアドバイスを送りました。
すると、パズルが上手くハマりRちゃんもAくんも大喜び！

Aくんはさらに、その日のことを思い出しハンカチを保育士の元に持ってくると「目隠し」と言いアイマスクの再現をしようと保育士に助けを求めました。
目隠しが出来ると遊びが始まりました。

役を交代して

スイカ割りの経験を別の遊びに生かし、友だちと協力してパズルをしていました。
普段の遊びの中で絵を描いたり、パズル、積み木を組み立てることで空間認知能力が付き目隠しをしていても想像し、パズルが出来ているのだと感じました。
友だちと活動する中で、共通の目的をみいだしたり、一緒に遊ぶ中で協力して遊びを発展させたり、子ども同士が力を合わせ取り組んでいる姿を十分に認め、集団での活動がより楽しく意義のあるものとなるようにしていきたいです。

大好きなともだちがいるって楽しい

自由遊びの時に一緒に遊ぶようになって、少し仲良くなったHくんとOくん。散歩で手を繋ぐペアになり更に、そこから二人の距離はグッと縮まりとっても仲良しになりました。「ぼく、Oちゃんのこと大好きやねん」と素直に思いを伝えられるHくんに成長を感じました。

年下の子のことにも視野が広がり、更に自信をつけたHくんは友だちの輪も広がり、鬼ごっこをしていても大きな声で主張できるほど生き生きとした姿を、保育園でもしっかり出せるようになってきたこと、嬉しく思います。
これからはHくんが遊びの中で中心となり、他児が「いれて」と遊びに入れてほしくなるような楽しいことを考え、引っ張っていってくれる力を発揮してくれることと思っています。

崩れちゃっても大丈夫！

次はどんなの作ろうかな？

Ｋくんが積み木で遊んでいます。細い積み木を組み合わせて、タワーを作ろうとしているようです。

せんせいよりも　たかくしよう！

お友達もＫくんの提案を面白そうだと思ったようです。
積み方を変えないように、順番に積み上げていきます。
時々先生を呼んで、「いま、どれくらい？」「今は腰だね」と高さ比べもしながら、目標に近づけようとどんどん積んでいきます。

自分たちの背では届かないので、椅子を持ってきて積んでいます。
あと少しで目標の先生と同じ背の高さ。
ところが…

ガッシャーン

大きな音を立てて、タワーは崩れてしまいました。でも、Ｋくんはニコニコ笑いながら、

こんどは、てんじょうにつく　くらい
たかくしよう！

と、新たな目標を持ってタワーを作り直します。
近くで遊んでいた友達も面白そうに思って、「やらせて」「いれて」と参加しています。
この後も、作っては倒れてを繰り返すのですが、Ｋくんはめげずに何度もタワーを作り直していました。
その時は必ずお友達に「もういっかいやろう」「つぎは、こんなふうにしよう」声を掛けるのでした。

目標を持って頑張っても、上手く行かないことはたくさんあります。それでもめげずに、失敗も楽しみながら次の目標を作って取り組むＫくんの姿が、とても素敵に思えました。

こうしたらおもしろそう！！

泥んこ遊びをしていた時のことです。らっこ組のＵくんは、樋に泥水を流して遊んでいました。
保育士が樋に傾斜をつけて水が流れるようにすると、「もうちょっと高くした方がいいんちゃう？」とのＵくんの提案で、さらに傾斜を高くしました。すると、周りにいた友達もとても喜んで水を流して遊び始めました。
しかし、Ｕくんはさらにおもしろいことはないかと考えます。

何かを思いつきスコップを持って来たＵくん。
どうするのかな？と思って見ていると、スコップで
水を受け止め、水の流れを変えて遊び始めたのです！

友達が勢いよく流してきた水がスコップに
溜まって反対に流れていくのがおもしろい！！

**Ｕくんの
おもしろセンサーは
まだまだ止まりません！**

おもしろいことはないかな～？と、また思いついたＵくん。
今度は、スコップを斜めに置いてそこに水を注ぎ水が溜まって
スコップが傾くと水が流れていく鹿威しのようにして
遊び始めました！

泥んこ遊びを楽しむ中で、ただどろどろになっているだけでなく
「こんなのおもしろそうだな」「どうしたらいいのかな」「こうしたらどうなるの？」
など、考えて試して失敗して成功してと、そんな様子がよくわかる姿でした。
実際にＵくんはこの遊びの中で、スコップの傾きを調整したり、流す水の量を
変えたり、使う道具を変えたりすることで気付きや発見があり、そうすることで
より遊びが広がっていきました！